

令和 6 年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録（第 8 回）

日 時：令和 6 年 12 月 12 日（木）午後 6 時 00 分～午後 8 時 35 分 （敬称略）

出 席：大橋 広瀬 内金崎 杉之原 岩元 能村 森

欠 席：加藤 小笠原 小林

傍 聴：なし

事務局：高野 俣本

1. あいさつ

大橋：欠礼はがきが多くショックを受けている。急に寒くなり今日も風が冷たい。体調には気を付けていただきたい。

2. 令和 6 年度地域活性化講座について

（1）「ウィンターイベント」の進捗状況について

実施日：12 月 27 日（金） 別紙参照

内 容：◎モルック 西砂地区体育会へ正式依頼済

◎書初め・書道 西砂書道愛好会へ正式依頼済

高野：モルックは進行表の通り後半に試合を予定。書道は講師が変わり段取りを模索中とのこと。西砂小は書初めのお手本がない旨を伝えてある。松中小は教材があるのでそれを持ってくる子もいるかもしれない。題材があれば隔たり無く 1 つのお手本で行うのも良いと伝えた。食材はお米 5 キロ、さつま芋 3 キロ、里芋 3 キロある。西砂産直売会からの寄付は不明。現在申込は 10 名。食材に使えるお金は一万円程ある。

森：西砂川産直売会からの寄付を見て足りないものを用意する予定。

広瀬：チラシは終了時間が 3 時。進行イメージ案では 4 時までになっている。

大橋：4 時までの場合は保護者に伝える必要がある。

高野：試合がどれくらい長くなるかわからなかったのが 4 時とした。終了は 3 時までとする。

（2）おやこ塾

実施日：令和 7 年 3 月 2 日（日） 西砂児童館

内 容：防災食について

講座対象者の確認。立防災より資料提供

高野：NPO 法人立川災害ボランティアネットの内諾は取れている。詳細は 1 月 23 日に確認する。ターゲットはどの学年にするか。未就学児も可能とするか。

大橋：小学低学年から中学年位かと思う。

森：低学年ができるレベルで高学年がやっても良い。サマーイベントでは高学年の子どもも楽しそうに作っていた。

高野：低学年対象の内容で依頼する。

長谷川：保護者 1 人に子ども 2 人で参加する家族もある。

大橋：作業は親子で作るのか、子どもだけで作るのか。

高野：親子で作る。色々なやり方があるとのこと。

岩元：能力は学年で決められるものではない。3月の実施なので時間もある。

能村：広報はどうするか。

高野：ウィンターイベントと同じスケジュールで行う。小笠原委員に確認する。

(3) 地域防災関係

実施日：令和7年 月 日

内 容：防災食

広瀬：来年実施するか決まっていないのでまだ決めることはない。

大槁：地域課題で新住民の話がでてきた。それに対して企画を検討するという話になった。

豊泉さんなど講師はいる。

広瀬：文化財保護審議会委員の小坂さんも詳しい。講座自体は難しい組み立ての講座ではない。

大槁：豊泉さんが持つ情報が素晴らしいが違う講師の開拓も必要かと思う。何人かにお声がけし来年度実施で進めたい。

広瀬：森さんは講座をやりたい気持ちがある。

高野：実施日が早めにと決まると部屋が確実にとれる。現状火曜日の実施は厳しい。

広瀬：実施は土日で検討する。

大槁：土日の部屋を予め確保しそれに合う講師を探すのも方法。

森：部屋の予約は12月20日から4月の抽選申し込みが始まる。

広瀬：4月の連休前で実施すると良い。

大槁：座学と散策が年3回位あると良い。中身はアイデアを出してもらいたい。

◇ 各学校関連の主な予定（12月、1月の予定 変更の可能性があります）

	西砂小学校	松中小学校	立川第七中学校
終業式	12/25（水）	12/25（水）	12/25（水）
始業式	1/8（水）	1/8（水）	1/8（水）
安全指導	12/3（火）	12/20（金）	12/13（金）
安全指導	1/14（火）	1/9（木）	1/15（水）
移動教室・修学旅行			1/22（水）～
学校公開			1/18（土）
立川市民科講座ほか		1/21（火）	12/17（火）

※松中小学校は、令和6年度中規模改修工事の完了、2月予定。

3. 報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局まで。

(2) 各委員から報告及び連絡事項

広瀬：シンポジウム「～障害のある人もない人も～地域共生社会とは？」に参加。立川市障害福祉課主催。初代委員の枝村さんコーディネーター。ここの地運協では障がいがある方対象の講座を取り上げていないと思った。来年の1つの課題。

岩元：「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」の条例策定検討委員会の委員になった。高齢になると皆が障がい者になるといつも話していた。障がいは多種多様。お互いが尊敬し合う基本的な生き方が皆に浸透する社会になったら良いという観点で条例を作った。

大橋：本当はどの講座も配慮をすべきこと。

内金崎：立川市まちづくり部地域公共交通担当課主催「立川市公共交通ワークショップ」を1月19日、3月15日に開催。先日は子ども関係の懇談会に参加し通信制の先生と話す機会があった。通信制に通う子どもは体験が圧倒的に少ないとのことだった。人と話す、些細な体験を地域でできる場所があると良いとのことだった。

長谷川：青少健は12月9日地区委員会を西砂児童館で開催。松中小の放課後子ども教室くるプレでは週1回、皆で同じ遊びをする日がある。玉入れ、しっぽとりゲームや紙芝居など。基本は自由遊びだが、皆で同じ遊びをする日は良い試みだと思っている。木曜日と金曜日は地域交流会があり、元むぎっこメンバーが入り工作やプレイルームで卓球などしている。西砂小の放課後子ども教室「にしっこ」は週1回の活動。週1回だけけど学校に来る励みになっている子どももいるとのこと。冬休みパトロールは12月23日、24日に行う。1月12日マラソン大会、1月13日西砂川地区体育会担当で5団体合同賀詞交歓会を予定。2月1日立川市青少年健全育成研究大会「子ども達があぶない！インターネットの危険性」講演会がある。

杉之原：近所で帰る道が分からなくなった住民がお二人いた。たまたま知っている方なのでお家までお連れすることができた。自治会として目を配っていけたら良いと思う。

岩元：不登校の子ども達の状況をどう大人として支えられるか。地域の若いお母さんやお父さん向けの講座があると良い。時代があまりにも変わってきている。専門家の話を聞ける機会があれば良いと思った。西砂川地区文化会は再生をした。1月19日うどん作り大会を開催。コーラスの活動も頑張っている。

能村：講座ガイドきらり・たちかわ冬号の発行は12月17日を予定。特集は「病気・障害と共に生き、仲間と共に働く場」。12月8日日曜日は第1回モルック大会があった。声がかかりチームで参加した。30チーム中決勝戦に残り4位だった。市はモルックに力を入れている。

森：西砂パソコンクラブでは2月は市民企画型講座、3月は団体企画型講座初めての動画編

集を予定。男女平等参画課からは来年度も講座を依頼された。多摩川で活動をしている団体「多摩りばクラブ」に友人がいる。子ども達の為に何か活動ができたかと話している。木を使った講座などアイデアを出してくれる。来年のサマーイベントに繋がればと思う。

俣本：「懐かしい歌を一緒に」やウィンターイベントの準備をしている。ウィンターイベントは個人的にモルックが楽しみ。

高野：砂川学習館の工事は長引く可能性もあり、その時は西砂学習館の利用者にも影響がある。12月末に予算の概略が決まる。次の会議でひな形が出せると思う。

(3) その他

○地域コーディネーター第2回交流会

調整のうえ、12月3日(火)午後6時30分開始予定

※12月の立川第七中学校で開催予定の講演会

○講演会：「ヤングケアラーってどんな人？～家のこと話してもいいんだよ～」

日時：12月17日(火)午後1時30分～

会場：立川第七中学校仮設体育館

講師：田中 悠美子さん(一般社団法人ケアラーワークス代表理事)

高野：資料回覧。現在8名の申し込み。

大橋：地域に情報は流しているが関心が少ない。

高野：内金崎委員から何人か追加の申し込みがあると連絡があった。子ども食堂の関係から問い合わせはあったが申し込みには至っていない。

広瀬：ヤングケアラーはこの地域にどのくらいいるのか。

大橋：自分が対象と思っているかも分からない。学校も分かっていない。青少健では取り上げているか。

長谷川：取り上げていない。

内金崎：子ども関係の懇談会でお声掛けをして2名から申し込みの話があった。

岩元：今回は仮体育館の開催ということで申し込み制となった。

内金崎：土曜日に地域福祉アンテナショップの交流会があるのでお話ができるかもしれない。

大橋：一人でも多くの人に子ども達の置かれている状況を知っていただきたい。

○第45回西砂学習館まつり準備会の報告について

*11月27日(水)午後1時30分 視聴覚室

○申込状況について

○その他 実行委員長：西砂書道愛好会 副実行委員長：コーラス槐

高野：第45回のまつりには33団体の申し込みがあった。地運協は展示で参加。学習館利用者の発表の場、異サークルの交流、会員募集のテーマで行っている。4月9日実行委

員会がある。

(4) 生涯学習関係職員研修会の報告について

*12月6日(金)午後1時30分～午後3時30分

会 場：錦学習館 講堂

○内 容：コミュニティ学習支援コーディネーターの養成に関する講座

○講 師：東京学芸大学 倉持 伸江 准教授

高野：詳細は西一元氣通信4面に掲載。まとめをしない講座形式で実施。

広瀬：ワークショップはグループでまとめたものを発表することが定番だったが今回はそれがなかった。学ぶ気があればいくらでも学べる素晴らしい方法だった。良い勉強になった。

岩元：自分のグループに杉並区のCLC講座参加者がいた。他は立川の方だった。自分の話しをした時、学社一体という感覚で子どもをどう地域で支えられるかが一番大きな関心事でそのことばかり話してしまい反省した。

大橋：西砂からは5名が参加。実践の話し合いを通してコーディネートする力を身につける研修会だった。面白い研修の方法だった。

(5) 学習館運営協議会交流会

日時 令和7年2月15日(土)午後2時から

会場 立川市役所3階302会議室

○テーマ：「我が学習館の『推し』を語ろう」

○コーディネーター：錦学習館運営協議会委員 倉持 伸江 氏

大橋：テーマについては次回確認をする。

4. その他

「西一元氣通信第12号」について

大橋：ヤングケアラーの講演会がP3の地域学校協働本部事業になる。チラシだけでは地域学校共同本部事業が分からないと思い載せた。地域学校コーディネーターが橋渡しになり地域全体で取り組む事業と概略が分かればと思った。P4は研修会に参加した詳細を掲載。目的を伝えることが大事と思う。もっと読みやすくする工夫は大事だと思う。

森：地域学校協働本部があり、本部事業があるのか。

大橋：冊子では事業が上で本部が下になっている。

森：文章途中に改行やスペースが入っている箇所がある。

岩元：P3「声もかけし易い」となっている。

内金崎：ヤングケアラーの振り返りの時に、協働本部事業の説明を入れると良い。

岩元：意見交換会と本部事業がリンクしない。本部事業はヤングケアラーが終わった報告で掲載すると良い。

広瀬：地域学校コーディネーターの名前を入れるか。

岩元：聞かれたら答えるのが良い。

大槇：指導課から地域学校コーディネーターの役割をレクチャーしてほしい。

広瀬：福生市の事例をこの地運協で聞いても良い。

大槇：統括コーディネーターの小松さんのお話も学校側からだから言える。突き上げること
はしたくない。

岩元：それをしないと学校教育は変わらない。

長谷川：学運協では形式的な会議をするだけかと出席をして思う。

大槇：新宿区の実践を冊子で見た。立川にまで情報がなかなかこない。

高野：今の話を講座形式にするか。

広瀬：福生市での苦労話しや今はどうしているかを聞きたい。

岩元：参考事例として聞くことは実りがある。

大槇：森委員に西一元氣通信の確認をお願いし、年明けに発行できたら良い。ヤングケアラーは13号で掲載。

※次回開催；次回は、令和7年1月14日（火）18：00から

配布資料

〈資料1〉第7回会議概要

〈資料2〉「西砂ウィンターイベント」資料

〈資料3〉講演会「ヤングケアラーってどんな人？」資料

〈資料4〉地域学習館運営協議会交流会の開催通知